

☆質疑に対する回答

<回答 1>

質問校：石川工業高等専門学校

	質問	回答
1	現在、COVID-19 の影響が続いているが、そのことを考慮した場合あまり建物を建てないで計画していくという選択肢があると思うが、建てないという選択肢を評価してもらえるのか	COVID-19 の影響のみならず、社会に対する現状認識及び将来像については、これまでのデザコン（空間デザイン部門）の審査と同様に、その認識も含めて課題の評価対象となります。また本選の作品選出においても、課題設定、課題に対する分析、アプローチ、提案内容などを論理性、実現性、表現力、オリジナリティなどを総合的に評価します。そのため課題設定および課題解決のアプローチが類似している作品の場合においても、複数の作品が本選通過作品として選出される場合もあります。
2	こどもパブリックといテーマだが、サブのテーマとして COVID-19 後の建築と、COVID-19 以前の建築、COVID-19 最中の建築の 3 パターンが裏にあると想定されるが、このバラバラなサブのテーマをどのように考慮して評価するのか、こどもパブリックというテーマを十分に理解して面白い提案ができていますのかで評価するのか。(昨年はバラバラなものを本選に選んでしまったため、あまり議論にならなかったという背景がある)	
3	同じような地域を扱った場合、手法が全く異なる場合だったら、複数選ばれることはあるのか	
4	COVID-19 の影響で設計条件の「②実際の地域・場所、そこでの日常、行事・イベント、まちづくり、組織などを調査し提案すること。」のアンケート調査など地域によってやりやすさに差があると思うが、その点をどう評価するのか。	
5	COVID-19 の影響で、開催が今後難しいような行事を扱い、その行事の実行可否に関してはあまり考えず、それらを行えるとして建築を COVID-19 に考慮して計画した際それをどのように評価するのか。(全てを網羅しようとした場合、案にあまり広がりを持たず、影響の取舍選択を行うことをよしとするのか)	